

受講生募集

高齢者大学が始まります！

平成22年度高齢者大学を各地区で開講します。受講を希望される方は、生涯学習課・各公民館へお申し込みください。

運営費はいずれも1000円です。

高鷹大学

テーマ「仲間と楽しく学び合おう」

内容 全体講座年6回程度
クラブ活動月1〜2回

対象 55歳以上の方

受付 4月1日(木)〜4月16日(金)

◎申込み・問合せ
中央公民館 ☎62・1130

合川ことぶき大学

テーマ「豊かな人生づくりを学びあう」

内容 年8回の実施を予定(講演会、移動研修、運動会など)

対象 55歳以上の方 受付 随時募集

◎申込み・問合せ
合川公民館 ☎78・2114

森吉大学

テーマ「新たな生きがいに挑戦してみよう」

内容 年6回の実施を予定(講演会・移動研修・健康教室など)

対象 55歳以上の方

受付 4月1日(木)〜4月30日(金)

◎申込み・問合せ
森吉公民館 ☎72・3259

阿仁生き活き大学

テーマ「楽しく学んでいきい」と！

内容 年6回
(講演会、移動研修、歴史探訪など)

対象 60歳以上の方

受付 4月1日(木)〜4月30日(金)

◎申込み・問合せ
阿仁公民館 ☎82・2220

板状土偶里帰り展

開催中

現在文化会館において、イギリス大英博物館「パワー・オブ・ドグウ展」東京国立博物館「国宝土偶展」より8カ月ぶりに里帰りの伊勢堂岱遺跡の板状土偶と試験湛水により水底に沈んだ森吉山ダム関連遺跡の出土品を展示公開中ですが、連日多くの市民が見学に訪れています。

世界文化遺産登録を目指す伊勢堂岱遺跡と北秋田の遺跡の縄文力を是非ご覧ください。

日時 6月1日(火)まで
午前9時〜午後5時
(水曜日は休館)

場所 文化会館資料展示室
入場料 無料

◎問合せ 生涯学習課文化班
☎62・6618

ふるさとの文化財

北秋田市指定有形文化財 (工芸品)

秋田の伝統工芸品として有名な「樺細工」は、その源は鎌沢(旧合川町)といわれています。御所野家の先祖が、京都から奥州へ下るとき技術を身につけてきたものといえられ、それが天明年間(1781〜)角館へ、大館へは天保年間(1830〜)に伝えられたと考えられています。鎌沢の樺細工は、素材ではありませんが御所野家代々の秘伝として伝承されてきましたが、16代金弥(大学院有秀)が工夫を重ね、外部に発表しました。明治43(1910)年、17代当主御所野弁弥が樺細工の起りについて述べた「由緒書」を、郡役所に提出し明らかになりました。また、13代大学院有俊が、天明2(1782)年、御所野家の「過去帳」(死者の氏名、戒名、生没年月日などを書いておく帳面)を記録していて、樺細工の起源が判明しました。

樺細工の素材(材料等)は山桜の樹皮を使います。樺は水に強く腐食しない、火には弱いが伸び縮みし、湿気を除き乾燥を防ぐことができ、横には裂



▲樺細工「胴乱」、製作用具一式

▽資料「北鹿は宝箱」、「史友」(合川地方史研究会)、「御所野家と樺細工の歴史」、合川町史郷土のあゆみ、秋田魁新聞ほか

▽紹介者／北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二

学びの広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

高鷹大学 卒業・閉講式

鷹巣地区の高齢者講座、高鷹大学の平成21年度卒業・閉講式が3月16日、市文化会館で開催されました。今年度の卒業生は、大学課程16名、大学院課程13名。代表して神成武治さんに卒業証書が手渡されました。また、年間を通じて、全体講座とクラブ活動を一度も休まず参加した21名の学生には皆勤賞が授与されました。

卒業生を代表して答辞を述べた大学課程修了の奥山源蔵さんは「大学院、研究生を目指して、まだまだ頑張ります」と決意を新たにしました。

引き続き、秋田大学教育心理学講座の森和彦教授が



「心のサプリメント：今だからこそライフスキル！」と題して、この後の20年をよりよく生きるための能力を高めることが大切だと講演し、学生たちは、メモを取りながら熱心に聞いていました。

公民館講座閉講のつどい

～学習の成果を発表～

平成21年度中央公民館・鷹巣地区公民館「閉講のつどい」が3月5日、中央公民館で開催され、受講生140人が参加しました。

開会式では、近藤文廣実行委員長が「自然や地域の歴史について見聞を広げる事ができ、仲間づくりにも役立った。各講座の発表がとても楽しみ」などとあいさつしました。

発表部門では中央公民館「グッドライフ講座」の村上とし子さん、栄公民館「フラダンス講座」の佐藤ミチさん、綴子公民館「自然観察会」の佐藤ヤエさんが今年度の講座を振り返って活動の様子や感想などを発表しました。演習部門では、7講座の受講生が歌や踊りなどを披露し、最後は七日市公民館講座講師の金新佐久さんのピアノ伴奏で「早春譜」を合唱し1年間の講座を締めくくりました。



村上ファミリーコンサート

～第83回浜辺の歌音楽館定期演奏会～

「村上ファミリーコンサート」が3月20日、浜辺の音楽館で開催され、テノール歌手・村上敏明さんの父・敏雄さん、母・悦子さん、兄・宣也さんによる本格的な歌声で観客を魅了しました。

第1部は、「サンタ・ルチア」でファミリーならではの息のあった歌声で幕を開け、成田為三作曲の「かなりや」や「すみれ」を披露したほか、悦子さんの恩師でもある浜辺の歌音楽館終身名誉館長・後藤惣一郎さん作曲の「から松」「雪のかたち」を後藤さんの指揮で会場と一緒に歌いました。

2部では、為三作曲の「うらうらと」「秋田県民歌」



等を会場全員で歌ったほか、敏雄さんと宣也さんの親子による「千の風になって」や本格的なオペラの曲で、聴衆を魅了しました。